

市民主体のまちづくりに向けた現況調査と施策の検討の概要

受託自治体：伊東市(静岡県)

【調査の目的】

地域づくりに積極的に関わりたいという市民意識の高まりに伴い、第三次伊東市総合計画に位置づけられた「市民によるまちづくり」を推進するため、当市における市民活動や市民参画に係る現状と課題、具体的な取組に対する要望等を聴取、把握し、市民と行政との協働、役割分担、市民や団体が活動しやすいシステムに必要な施策や体制など、今後の市民参画の基本的な仕組みとなる「市民参画のまちづくり推進計画」の骨子とすることを目的とする。

【調査の方法】

市民活動団体や地域団体、一般公募市民による「伊東まちづくり市民会議」及び行政の若手・中堅職員による「いとう 50 人委員会」を設置し、「市民活動の現状・課題」、「市民主体のまちづくり推進方策の検討」、「プロジェクトの提案」をテーマに、それぞれワークショップを開催するとともに、会議経過や提案内容等をホームページで公開し、幅広い市民の意見を求めた。

【調査結果】

1. 市民活動の概要

〔市民参画における現状と課題〕

- まちづくりや行政への市民全体の関心が薄く、参加者の顔ぶれが同じ傾向にあるとともに、まちづくりを進めるための知識・経験を有する人材が不足している現状がある。そのため、市民意識を高め、まちづくりを進める人材を確保・養成する必要がある。
- 市民と市民、市民と行政の間で、市民活動に関する情報が不足している一方、市民に対する行政の説明責任が十分果たされていない現状がある。そのため、市政・まちづくり情報を行政と市民・市民間で共有する必要がある。
- 会合などの市民活動の拠点となる場がなく、公共施設が利用しにくい、活動資金が不足しているという現状がある。そのため、市民団体の活動資金・場所(設備)を確保する必要がある。
- 広報・情報公開・行政の透明化が十分でなく、また、市民の考えを政策形成に生かすシステム(保証する制度)が構築されていない現状がある。そのため、政策形成過程で市民参画を進める必要がある。
- 市役所の、市民活動を支援する担当組織が明確でなく、支援する人材も不足している現状がある。そのため、市民によるまちづくりを支援する体制を構築する必要がある。

2. 市民活動促進施策の方向

1. まちづくりの意識を高め、市民の主体的な参加を促進する

2. 市民活動や市政の情報を積極的に発信し、みんなで共有する
3. 市民活動への支援を進める
4. 市政への市民参画を推進する
5. 市民参画によるまちづくりを進める体制を整える

3. リーディングプロジェクト

以上の市民活動促進施策の方向性を踏まえ、市民参画のまちづくりを重点的・先導的に進めていく事業として、リーディングプロジェクトを設定し、市民活動を促進していく。

1. 市民意識の醸成と人材の養成
 - まちづくりの担い手を育てる各種講座(市民活動をサポートする専門家の養成講座等)を開講する 等
2. 市民活動のネットワークづくりと市民によるまちづくりイベントの開催
 - 市民団体のネットワーク会議を開催する 等
3. 市民活動情報の収集・発信と人材の活用・交流
 - まちづくりの情報をデータベース化し、情報を共有できるようにする 等
4. 市民の意見が、まちづくりにきちんと活かせる情報システムづくり
 - インターネットによる意見交換のシステムづくり 等
5. 市民団体と行政との協働事業の実施
 - 市民の提案による協働事業を年に1つは実施する 等
6. (仮称)市民活動センターの設置と運営
 - アドバイザーを置いて、市民活動の相談を行う 等